

次世代型耐火被覆材

耐火テクト®

2液反応硬化型 発泡性ポリエーテル樹脂 耐火被覆材

① 空間創造

圧倒的薄い被覆厚により新たな空間を創造

② 耐水・耐久性の向上

耐水性の大幅向上により良好な屋外適正

③ 工期短縮

2液反応硬化型・厚膜施工による工期短縮

④ プレ施工対応可能

大規模建築・工期短縮に大きなメリット



新たな耐火被覆材 **耐火テクト**

耐火被覆材は人命、財産を守る機能材です。

耐火テクトは様々なデザインされた建築物に求められている耐火性能の+αを満たす耐火被覆材です。



撮影：GAKU OGASAWARA

公共事業

福井県小浜美郷小学校
設計：石本建築事務所・
垣本孝男一級建築士事務所
設計共同企業体 様
施工：若狭・松岡・嶋田共同企業体 様

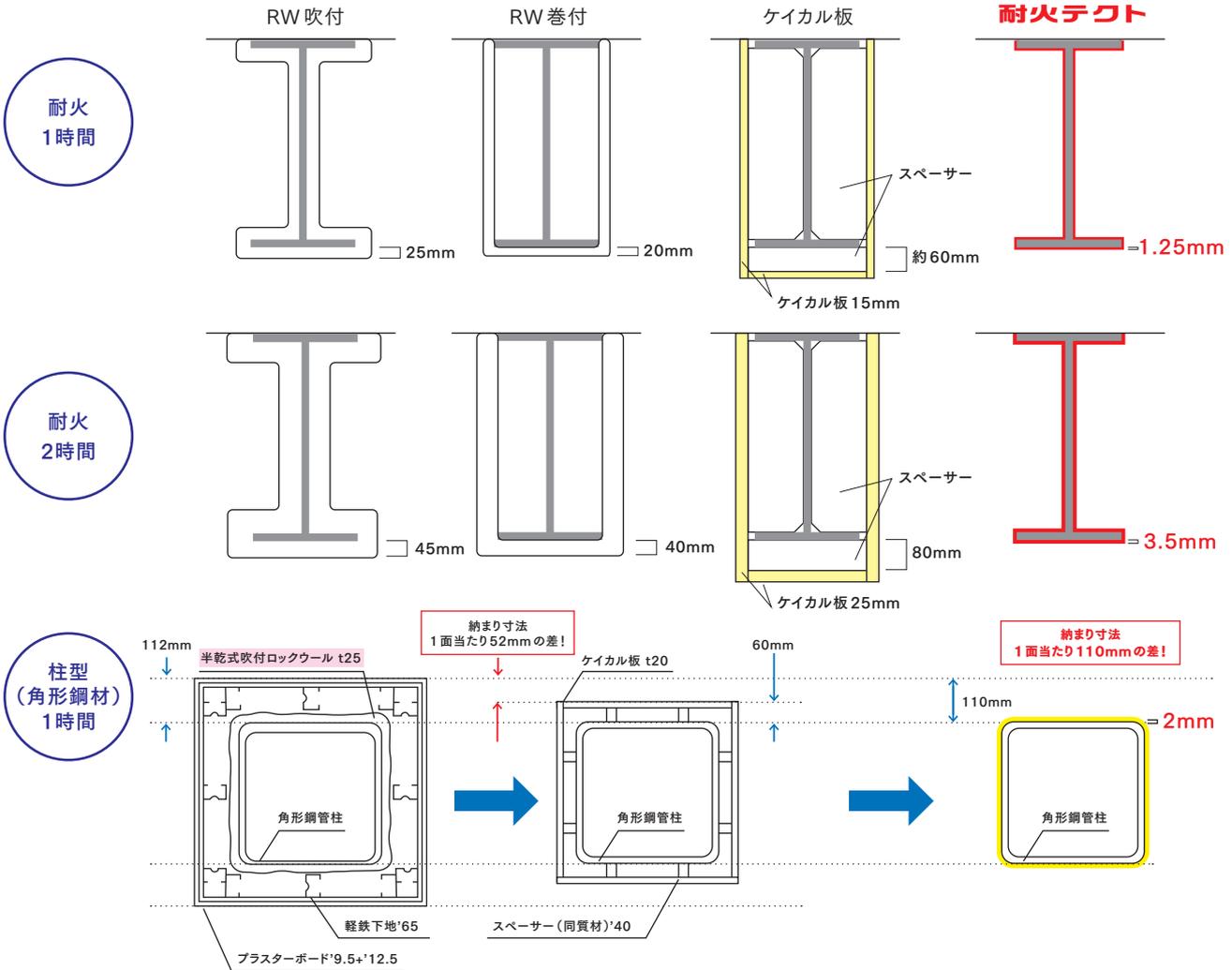


撮影：GAKU OGASAWARA

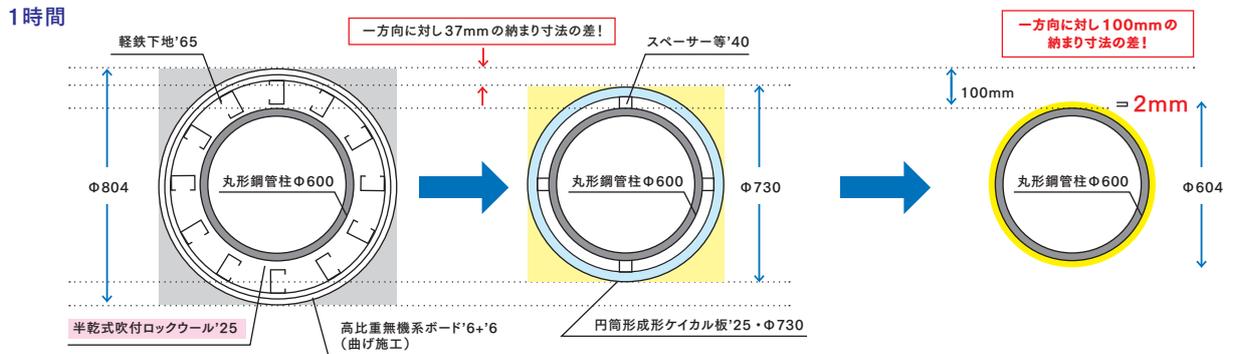
1. 空間創造

次世代型耐火被覆材「耐火テクト」は薄い!!

各工法の耐火1時間・耐火2時間の被覆の厚み 梁(H440×300×11×18の場合)



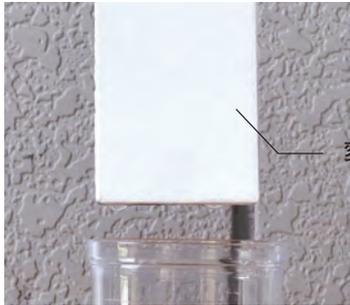
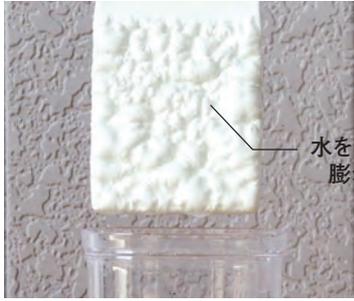
納まりスペース参考比較(丸形鋼管タイプのイメージ)



2. 屋外耐久性

- 高い耐水性により耐久性が増し、適用範囲が広がります。(上塗は耐候性に優れたフッ素塗料)
- 微弾性タイプで鉄骨の変形に追従します。
- 省メンテナンスの実現

》耐火テクトの耐水性 没水試験

	耐火テクト	従来品
膜厚	0.9 ~ 1.00mm	
塗装方法	引き塗り、1回塗装	スプレー、0.5mm×2回、塗装間隔24H
養生条件	23℃ 1週間	
没水	23℃ 24時間	
外観	 <p>変化なし</p>	 <p>水を吸い、膨れる</p>

3. 工期短縮

- 耐火認定膜厚(1H,2H)を1回で塗装可能
- 二液反応硬化型なので工期の大幅短縮(塗装間隔24時間:20℃×1H膜厚時)※2H膜厚は48時間
- 鉄骨製作FABでのプレ施工、現場施工が可能

2時間耐火 梁H440×300×11×18(100㎡以下程度)の場合

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	耐火厚
ロックウール	主剤塗り	乾燥・養生		パネル・シール			施工期間 約7日		施工期間 約2週間						45 mm
一般耐火塗料	主剤塗り					乾燥・養生					中塗	上塗			3.75 mm
耐火テクト	主剤塗り	乾燥・養生	中塗	上塗	施工期間 約5日!										3.5 mm

4. プレ施工状況

- 耐火テクトの高耐水性・厚付け施工の特長によりプレ施工が容易になりました。
- 現場建方前に事前に耐火テクトを施すことにより現場での作業を大幅に削減。
- 工期の短縮と現場作業環境を改善することが可能です。

プレ施工 (ヤード)



プレ施工 (FAB)



実績写真



駅舎

JR東日本 幕張豊砂駅
設計：株式会社JR東日本建築設計 様
施工：鉄建建設株式会社 様



実績写真



品川区立後地小学校
設計：株式会社佐藤総合計画 様
施工：日本国土開発株式会社 様

公共事業



千代田区万世橋出張所・区民館
設計：株式会社日建設計 様
施工：大成・本間建設共同企業体 様

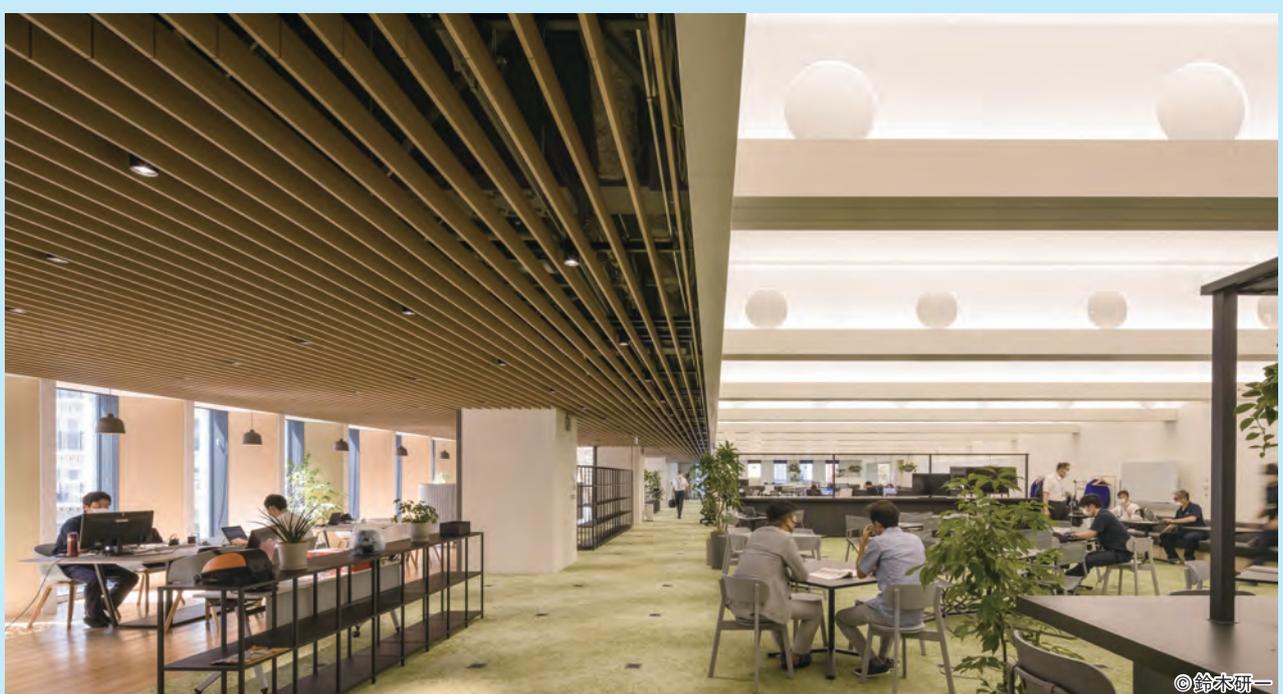
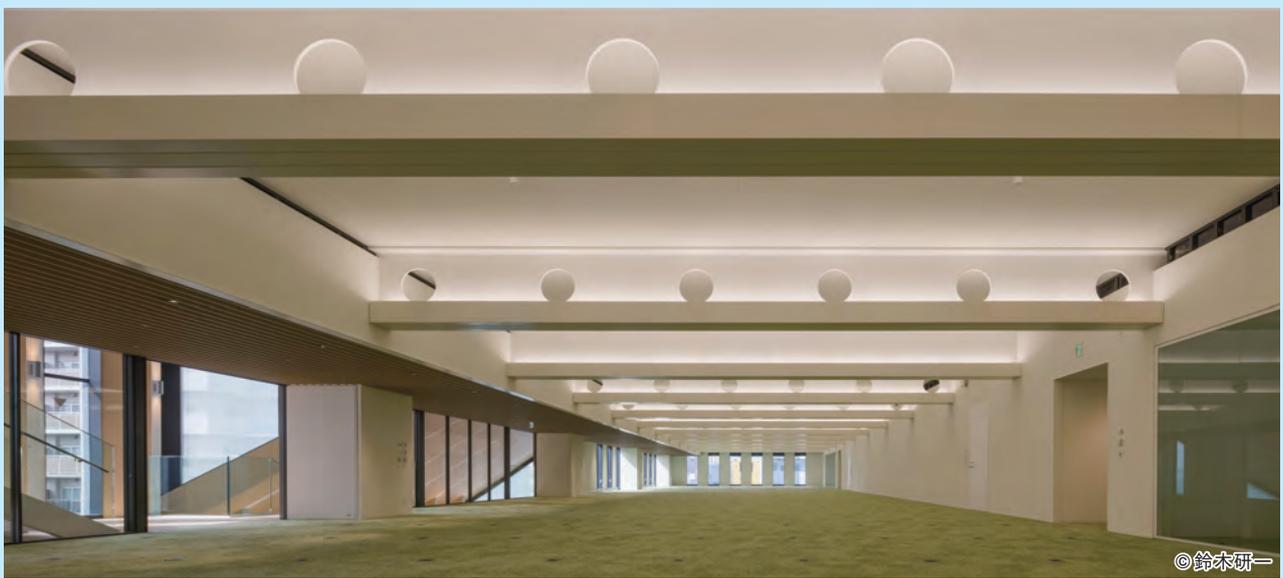
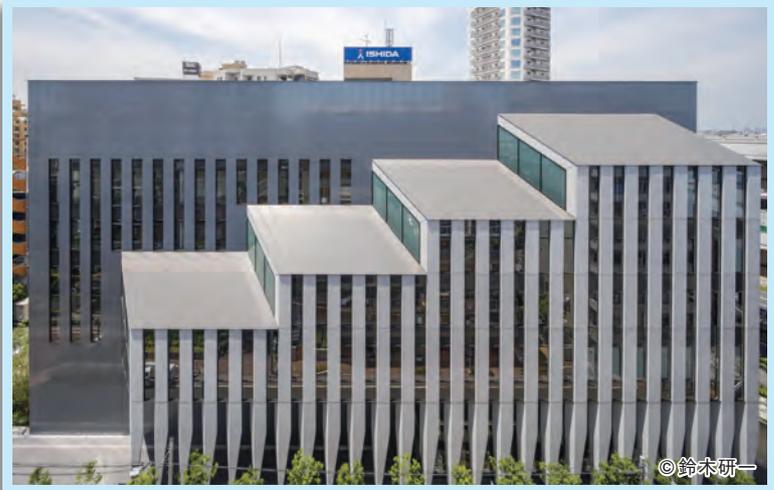


八戸市美術館
設計：西澤徹夫建築事務所・タカバスタジオ設計共同体 様
施工：鴻池組・田名部組・東復建設特定建設工事共同企業体 様

実績写真

オフィスビル

インダ東京支社板橋ビル
設計：株式会社日建設計 様
施工：前田建設工業株式会社 様





大学施設

大同大学名古屋キャンパス
設計：株式会社日建設計 様
施工：株式会社大林組 様



実績写真



住 宅

プライムメゾン両国
設計：株式会社鴻池組 様
施工：株式会社鴻池組 様



複合施設

渋谷ブリッジ
設計：株式会社東急設計コンサルタント 様
施工：東急・大林建設工事共同企業体 様

国土交通省耐火構造認定番号一覧

2024年4月現在

部位	耐火時間	主材膜厚 (mm)	認定番号	鋼材下限断面寸法		鋼材上限断面寸法
梁	1時間	2.50	FP060BM-0488-1	H 200×100×5.5×8	~	H 1200×500×25×40
		1.75	FP060BM-0480	H 400×200×8×13		H 1200×500×25×40
		1.25	FP060BM-0523-1	H 440×300×11×18		H 1500×1500×70×70
	2時間	4.80	FP120BM-0505	H 400×200×8×13		H 1200×500×25×40
		3.50	FP120BM-0531	H 440×300×11×18		H 1200×500×25×40
柱	1時間	3.00	FP060CN-0790-1	H 150×150×7×10	~	H 1300×1300×40×50
		1.75	FP060CN-0806	H 300×300×10×15		H 1500×1500×40×50
		2.00	FP060CN-0707	□ 300×300×9		□ 1200×1200×60
				Φ 382×9		Φ 1200×60
				Φ 300×9		Φ 1528×60
		4.50	FP060CN-1001	□ 100×100×4.5		□ 1200×1200×60
	Φ 128×4.5			Φ 1528×60		
	1.00	FP060CN-1054	□ 500×500×19	□ 1200×1200×60		
			Φ 637×19	Φ 1528×60		
	2時間	5.00	FP120CN-0791	H 300×300×10×15		H 1300×1300×50×50
		5.30	FP120CN-0799	□ 300×300×9		□ 1200×1200×60
Φ 382×9				Φ 1528×60		



2024年 柱30分防火認定取得について

既取得の耐火認定に加えて、柱30分防火認定を新たに取得いたしました。

今後も認定範囲拡大中ですので、認定鋼材寸法等のご不明点はお問い合わせください。

部位	防火時間	主材膜厚 (mm)	認定番号	鋼材下限断面寸法		鋼材上限断面寸法
柱	30分	0.50	CC-0012	□ 300×300×9	~	□ 1000×1000×40
				Φ 382×9		Φ 1273×40
		0.50	認定番号待ち	H 300×300×10×15		H 1300×1300×50×50

関西ペイント(株)耐火テクト管理G TEL: 03-5711-8904

認定膜厚表

1時間 ○柱

鋼材寸法	t4.5	t5.0	t5.3	t5.8	t6.0	t6.6	t6.9	t7.0	t7.1	t8.0
OD : 外径 (mm)	被覆厚(mm)									
128.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
139.8	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
165.2	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
190.7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
216.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
267.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
300.0						4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
318.5						4.5	4.5	4.5	4.5	4.5

鋼材寸法	t8.2	t9.0	t9.3	t9.5	t10.3	t12.0	t12.7	t14.0	t16.0	t19.0	t22.0
OD : 外径 (mm)	被覆厚(mm)										
128.0	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
139.8	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
165.2	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
190.7	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
216.3	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
267.4	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5
300.0	4.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
318.5	4.5	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
355.6		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
382.0		2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
406.4			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
457.2			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
500.0			2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
508.0				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
558.8				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
600.0					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
609.6					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
700.0						2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0
711.2						2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0
812.8						2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0
914.4						2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	1.0
1016.0								2.0	2.0	2.0	1.0

1時間 □柱

鋼材寸法		被覆厚(mm)									
A	B	t4.5	t6.0	t8.0	t9.0	t12.0	t14.0	t16.0	t19.0	t22.0	
100	100	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
125	125	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
150	150	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
175	175			4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
200	200			4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
250	250			4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	
300	300				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
350	350					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
400	400					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
450	450					2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	
500	500					2.0	2.0	2.0	1.0	1.0	

1時間 H型

鋼材寸法				耐火テクト	
H	B	t1	t2	柱	梁
100	50	5	7		
100	100	6	8		
125	60	6	8		
125	125	6.5	9		
150	75	5	7		
148	100	6	9		
150	150	7	10	3.00	
175	90	5	8		
175	175	7.5	11	3.00	
198	99	4.5	7		
200	100	5.5	8		2.50
194	150	6	9		
200	200	8	12	3.00	2.50
200	204	12	12	3.00	2.50
248	124	5	8		
250	125	6	9		2.50
244	175	7	11	3.00	2.50
250	250	9	14	3.00	2.50
250	255	14	14	3.00	2.50
298	149	5.5	8		2.50
300	150	6.5	9	3.00	2.50
294	200	8	12	3.00	2.50
294	302	12	12	3.00	2.50
300	300	10	15	1.75	2.50
300	305	15	15	1.75	2.50
346	174	6	9		2.50
350	175	7	11	3.00	2.50
340	250	9	14	3.00	2.50
344	348	10	16	1.75	2.50
350	350	12	19	1.75	2.50
396	199	7	11	3.00	2.50
400	200	8	13	3.00	1.75
390	300	10	16	3.00	2.50
388	402	15	15	1.75	2.50
394	398	11	18	3.00	2.50
400	400	13	21	1.75	1.75
400	408	21	21	1.75	1.75
414	405	18	28	1.75	1.75
428	407	20	35	1.75	1.75
458	417	30	50	1.75	1.75
498	432	45	70	1.75	1.75
446	199	8	12	3.00	2.50
450	200	9	14	3.00	1.75
440	300	11	18	1.75	1.25
496	199	9	14	3.00	2.50
500	200	10	16	3.00	1.75
506	201	11	19	3.00	1.75
482	300	11	15	1.75	1.75
488	300	11	15	1.75	1.75
596	199	10	15	3.00	2.50
600	200	11	17	3.00	1.75
606	201	12	20	3.00	1.75
582	300	12	17	1.75	1.75
588	300	12	20	1.75	1.25
594	302	14	23	1.75	1.25
692	300	13	20	1.75	1.25
700	300	13	24	1.75	1.25
792	300	14	22	1.75	1.25
800	300	14	26	1.75	1.25
890	299	15	23	3.00	1.75
900	300	16	28	1.75	1.25
912	302	18	34	1.75	1.25

■ 2時間 ○柱

鋼材寸法	t9.0	t9.3	t9.5	t10.0	t10.5	t11.0	t11.5	t12.0	t13.0	t14.0 ~
OD: 外径 (mm)	被覆厚(mm)									
382.0	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
400.0		5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
500.0		5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
600.0				5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
700.0					5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
800~						5.3	5.3	5.3	5.3	5.3

■ 2時間 □柱

鋼材寸法		被覆厚(mm)							
A	B	t6.0	t8.0	t9.0	t12.0	t14.0	t16.0	t19.0	t22.0
300	300			5.3	5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
350	350				5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
400	400				5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
450	450				5.3	5.3	5.3	5.3	5.3
500	500				5.3	5.3	5.3	5.3	5.3

■ 2時間 H型

鋼材寸法				耐火テクト	
H	B	t1	t2	柱	梁
300	300	10	15	5.0	
300	305	15	15	5.0	
346	174	6	9		
350	175	7	11		
340	250	9	14		
344	348	10	16	5.0	
350	350	12	19	5.0	
396	199	7	11		
400	200	8	13		4.8
390	300	10	16	5.0	
388	402	15	15	5.0	
394	398	11	18	5.0	
400	400	13	21	5.0	4.8
400	408	21	21	5.0	4.8
414	405	18	28	5.0	4.8
428	407	20	35	5.0	4.8
458	417	30	50	5.0	4.8
498	432	45	70	5.0	4.8
446	199	8	12		
450	200	9	14		4.8
440	300	11	18	5.0	3.5
496	199	9	14		
500	200	10	16		4.8
506	201	11	19		4.8
482	300	11	15	5.0	4.8

鋼材寸法				耐火テクト	
H	B	t1	t2	柱	梁
488	300	11	15	5.0	4.8
596	199	10	15		
600	200	11	17		4.8
606	201	12	20		4.8
582	300	12	17	5.0	3.5
588	300	12	20	5.0	3.5
594	302	14	23	5.0	3.5
692	300	13	20	5.0	3.5
700	300	13	24	5.0	3.5
792	300	14	22	5.0	3.5
800	300	14	26	5.0	3.5
890	299	15	23		4.8
900	300	16	28	5.0	3.5
912	302	18	34	5.0	3.5

※膜厚表は一例です。詳しくはお問い合わせください。

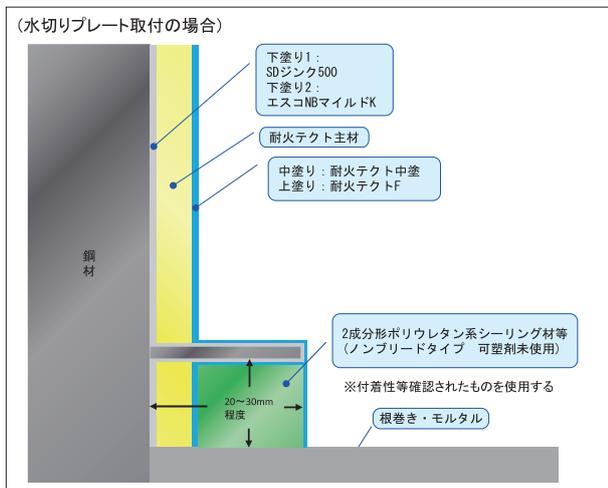
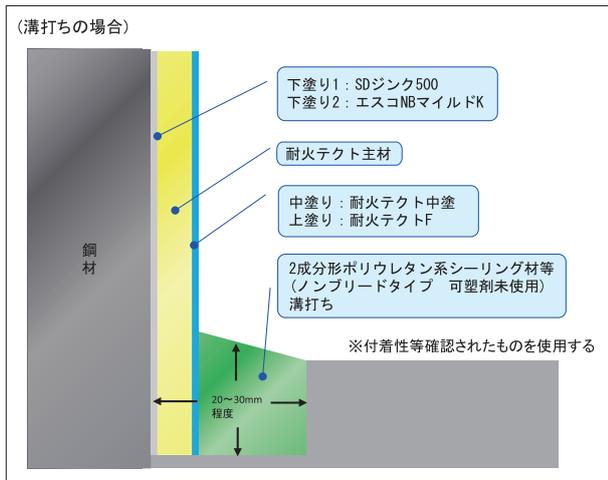
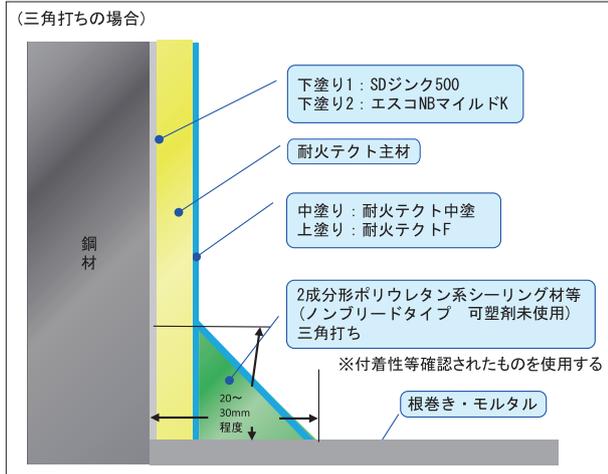
ご不明点がございましたら
お気軽にお問い合わせください。
関西ペイント(株)耐火テクト管理グループ
TEL 03-5711-8904

各部納めについて

①柱と床との取り合い部分の止水処理

柱と床の取り合い部分は雨水等が滞留する可能性が高く、塗膜端部から塗膜内に水が進入し塗膜の膨れやはがれ等の不具合が発生する可能性があります。塗膜端部からの水の侵入を防ぐ為、シール処理等の止水処理をお願い致します。

当社推奨シール材：2成分系ポリウレタン系シーリング材等
(ノンブリードタイプ 可塑剤未使用)

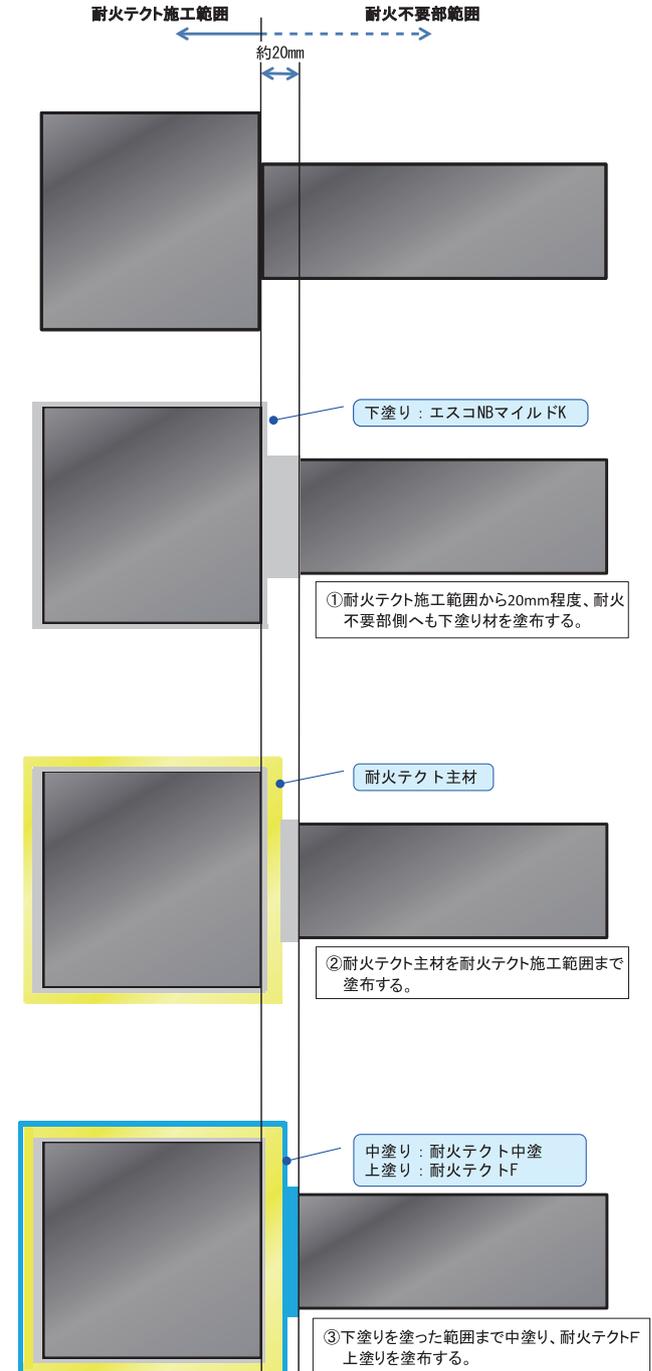


※以下は付着性確認済み

商品名：ペンギンシール MS2500 2成分変性シリコーン系
ペンギンシール MS2500typeNB 2成分変性シリコーン系
ペンギンシール PS169N イソシアネート硬化型2成分形
ポリサルファイド系
ペンギンシール PU9000typeNB 2成分ポリウレタン系

②外部使用における耐火テクトと非耐火部材との取り合い部分の処理

外部における耐火テクト施工部と耐火不要部材との取り合いは、以下のよう手順で塗装のオーバーラップ処理を行い耐火テクト主材を保護をお願いします。



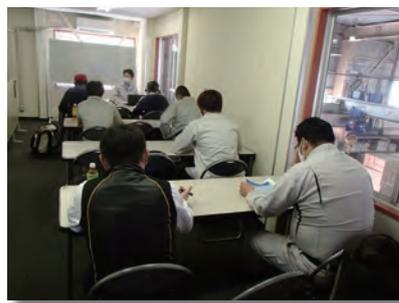
カラーバリエーション

全つや、5分つや、3分つや（=つやなし）があります。
※日本塗料工業会の色見本帳に準ずる。



施工講習会について

施工店様・販売店様向けに、耐火テクトの取り扱い説明を含めた講習を受けていただきます。受講後、施工ライセンスを取得した施工店様のみ施工ができる仕組みとなっています。



耐火被覆仕様

1) 亜鉛メッキ鋼材：柱・梁

施工場所	塗装工程	塗料名	塗回数	塗装方法	塗付量 g/m ² /回	塗装間隔 (20℃)		標準膜厚 μm/回	シンナー名 希釈率 (重量比)
						Min	Max		
亜鉛メッキ									
工場	素地調整	スリーブブラストまたはリン酸亜鉛処理を行ってください。できない場合は研磨処理（電動工具、手工具など）を行ってください。							
	下塗	エスコNBマイルド (弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料)	1	AL	190	8H	30D	40	塗料用シンナーA 0～5%
現地	主材塗	耐火テクト (発泡性ポリエーテル樹脂耐火被覆材)	注	(特殊) AL	注	1D	7D	注	耐火テクトシンナー 0～2%
	中塗	耐火テクト 中塗 JIS K 5659 中塗	1	AL or ハケ・ローラー	170	8H	7D	30	テクト中塗シンナー 0～10%
	上塗	耐火テクト F JIS K 5659 1級	1	AL or ハケ・ローラー	140	1D	7D	25	テクト上塗シンナー 10～20%

注) 耐火膜厚…耐火被覆材の膜厚は柱・梁の区分と鋼材サイズにより異なります。このため所要量も膜厚に応じて変動します。

2) 屋内限定：柱・梁

施工場所	塗装工程	塗料名	塗回数	塗装方法	塗付量 g/m ² /回	塗装間隔 (20℃)		標準膜厚 μm/回	シンナー名 希釈率 (重量比)
						Min	Max		
工場	素地調整	スリーブブラスト処理 (ISO Sa1 程度: 脆弱な黒皮・錆を除去する) 又は2種ケレン (ISO St3: 2種ケレン後に脱脂を行い、ガムテープ付着テストを行なう) ・上記処理前に油脂分はラッカーシンナー等で脱脂除去する。 ・溶接スパッタ・溶接検査時のグリセリンは、入念に除去する。							
	下塗	エスコNBマイルドK (弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料)	1	AL	190	8H	30D	40	塗料用シンナーA 0～5%
現地	補修塗	現場搬入後、発錆部や、塗膜損傷部、接合部などは、素地調整 (ISO St3: 2種ケレン相当) を行う。処理後ただちに素地露出面に対し、工場施工の下塗し塗膜の復元を行う。ただし、既存塗膜にかからないよう塗装する。							
	二次素地調整	塗装面に付着している油分や汚れなどを溶剤などで拭き取り、P180程度の研磨紙などで塗面を面粗し、清掃する。							
	主材塗	耐火テクト (発泡性ポリエーテル樹脂耐火被覆材)	注	(特殊) AL	注	1D	(30D)	注	耐火テクトシンナー 0～2%
	中塗	耐火テクト 中塗 JIS K 5659 中塗	1	AL or ハケ・ローラー	170	4H	30D	30	テクト中塗シンナー 5～20%
	上塗	耐火テクト F JIS K 5659 1級	1	AL or ハケ・ローラー	140	1D	7D	25	テクト上塗シンナー 10～20%

注) 耐火膜厚…耐火被覆材の膜厚は柱・梁の区分と鋼材サイズにより異なります。このため所要量も膜厚に応じて変動します。

※RW代替であれば主材塗までの施工で認定取得しております。

耐火被覆仕様

施工場所	塗装工程	塗料名	塗回数	塗装方法	塗付量 g/m ² /回	塗装間隔 (20℃)		標準膜厚 μm/回	シンナー名 希釈率 (重量比)
						Min	Max		
工場	素地調整	ブラスト処理により ISO Sa-2.5 (1種ケレン相当) までケレン処理する。							
	プライマー	SDジンク500 (有機ジンクリッチペイント)	1	AL	280	1D	6M	30	SDジンクシンナー 0~10%
	下塗	エスコNBマイルドK (弱溶剤変性エポキシ樹脂塗料)	1	AL	190	8H	30D	40	塗料用シンナーA 0~5%
現地	補修塗	現場搬入後、発錆部や、塗膜損傷部、接合部などは、素地調整 (ISO St3: 2種ケレン相当) を行う。処理後ただちに素地露出面に対し、工場施工の下塗り塗膜の復元を行う。ただし、既存塗膜にかからないよう塗装する。							
	二次素地調整	塗装面に付着している油分や汚れなどを溶剤などで拭き取り、P180程度の研磨紙などで塗面を面直し、清掃する。							
	主材塗	耐火テクト (発泡性ポリエーテル樹脂耐火被覆材)	1	(特殊) AL	注) —	1D	(30D)	注) —	耐火テクトシンナー 0~2%
	中塗	耐火テクト 中塗 JIS K 5659 中塗	1	AL or ハケ・ローラー	170	4H	30D	30	テクト中塗シンナー 5~20%
	上塗	耐火テクト F JIS K 5659 1級	1	AL or ハケ・ローラー	140	1D	7D	25	テクト上塗シンナー 10~20%

注) 耐火膜厚…耐火被覆材の膜厚は柱・梁の区分と鋼材サイズにより異なります。このため所要量も膜厚に応じて変動します。

【耐火テクト】維持管理指針

○維持管理

耐火塗装の施工が完了した時点で、建築物の所有者様、管理者様もしくは点検を委託された者が3年~5年に1回の周期で、定期的に塗膜の外観点検を行うことをお勧めいたします。補修が必要とされた場合には、専門知識を持つ技術者(耐火テクト認定工務会社)に相談頂き技術的アドバイスを考慮の上、補修塗装の要否を検討する必要があります。万一の火災に備えて、塗膜は耐火性能を維持している必要がありますので計画的な維持管理を実施することが重要になります。

○点検

- 耐火塗膜の性能を維持するため、計画的な点検を実施する。
- 日常点検により塗膜の異常が認められた場合は、耐火テクト認定工務会社に依頼し詳細な点検を実施してその結果に基づいて補修の要否を検討する。

各点検の概要は以下の通りです。

点検種類	点検対象	方法	点検時期	実施者	費用負担者
日常点検 注1)	外観	目視	日常的に点検または6ヵ月毎に1回 定期点検	建物管理者	建物所有者
有償点検 注2)	外観	目視、指触	5年毎に1回(目安)	専門技術者	建物所有者
臨時有償点検	外観	目視、指触	・日常点検で異常が認められたとき ・浸水、地震、火災などの影響を受けたとき	専門技術者	建物所有者

注1) 日常点検は、建物の所有者や管理者もしくは点検を委託された者が耐火塗膜の状態を目視にて異常がないか確認する。点検結果に異常があれば、臨時点検の実施を検討する。

注2) 有償点検は(財)日本塗料検査協会発行の「塗膜の評価基準」に基づき検査を行い報告書を提出する。費用は5万円/日(交通費等 諸経費別)程度が目安。

○補修

耐火塗膜に対する補修が必要と判断された場合は、塗膜の劣化状態、耐火性能、防錆性能、上塗塗料の保護性能や意匠性又は塗膜が起因する周囲に及ぼす影響などを考慮して、専門知識を持つ耐火テクト認定工務会社に相談の上、提案する補修方法に準じて、速やかに補修を検討する。

【ご使用上の注意事項】 ■ 下記の注意事項を守ってください。 ■ 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

【予防策】取り扱い作業中・乾燥中とともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。火気を避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。火災を発生しない工具・防爆型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。本来の目的以外に使用しないこと。指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

【対応】目に入った場合:直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。皮膚に付着した場合:直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。吸入した場合:空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取る。火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

【保管】指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。

【廃棄】本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

【施工後の安全】本製品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの場合は、施主様に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てである旨を表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp



お近くの営業所は
こちらから!

各種カタログご覧になれます。

耐火テクト管理グループ TEL: 03-5711-8904